

商品名 ギルミトリプタンOD錠2.5mg「VTRS」 医薬品基本情報

薬効	2160 血管収縮剤	一般名	ギルミトリプタン2.5mg口腔内崩壊錠
英名	Zolmitriptan OD	剤型	錠
薬価	122.90	規格	2.5mg 1錠
メーカー	ヴァイアトリス・ヘルスケア	毒劇区分	(劇)

ギルミトリプタンOD錠2.5mg「VTRS」の効能・効果

片頭痛＜家族性片麻痺性・孤発性片麻痺性・脳底型・眼筋麻痺性片頭痛を除く＞

ギルミトリプタンOD錠2.5mg「VTRS」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、心筋梗塞の既往、虚血性心疾患又はその恐れ・疑い、異型狭心症、冠動脈攣縮、脳血管障害の既往、一過性脳虚血性発作の既往、末梢血管障害、コントロールされていない高血圧症、エルゴタミン投与中、エルゴタミン誘導体含有製剤投与中、5-HT _{1B} /1D受容体作動薬投与中、モノアミン酸化酵素阻害剤＜MAO阻害剤＞投与中、モノアミン酸化酵素阻害剤＜MAO阻害剤＞投与中止2週間以内	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 重度肝機能障害、CYP1A2阻害剤と併用	記載場所	用法・用量
	注意レベル	慎重投与
3. WPW症候群の既往	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	注意
4. 心血管系の疾患が認められない、虚血性心疾患又はその恐れ・疑い、重篤な不整脈、冠動脈疾患の危険因子を有する、WPW症候群、ウォルフ・パーキンソン・ホワイ特症候群、心臓副伝導路と関連した不整脈、脳血管障害又はその恐れ・疑い、てんかんを起こしやすい器質的脳疾患、痙攣を起こしやすい器質的脳疾患、コントロールされている高血圧症、重度肝機能障害、中等度肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ギルミトリプタンOD錠2.5mg「VTRS」の副作用等

1. 不整脈、狭心症、心筋梗塞、虚血性心疾患様症状、一過性胸痛、一過性胸部圧迫感、虚血性心疾患	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. アナフィラキシーショック、アナフィラキシー、重篤な発作性頻脈、薬剤の使用過多による頭痛、てんかん様発作	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 頻脈、消化管虚血、消化管梗塞、腸管虚血、腸管梗塞、脾梗塞、血性下痢、腹痛、嚥下困難、多尿、尿意切迫、筋肉痛、疲労	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 動悸、悪心、口内乾燥、嘔吐、腹痛、傾眠、めまい、知覚減退、知覚過敏、異常感覚、頭痛、無力症、熱感、重圧感、絞扼感、疼痛、圧迫感、関節痛、背部痛、頸部痛、倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. じん麻疹、血管浮腫、過敏症状、高血圧、下痢、頻尿、筋脱力	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
6. 重篤な心疾患、薬剤の使用過多による頭痛、鎮静、傾眠、無力症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ゾルミトリプタンOD錠2.5mg「VTRS」の相互作用

1. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤投与中止2週間以内			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止
2. 薬剤名等：エルゴタミン			
発現事象	血圧の上昇、血管攣縮が増強	投与条件	-
理由・原因	5-HT1B／1D受容体作動薬との薬理的相加作用により、相互に作用（血管収縮作用）を増強	指示	禁止
3. 薬剤名等：エルゴタミン誘導体含有製剤			
発現事象	血圧の上昇、血管攣縮が増強	投与条件	-
理由・原因	5-HT1B／1D受容体作動薬との薬理的相加作用により、相互に作用（血管収縮作用）を増強	指示	禁止
4. 薬剤名等：5-HT1B/1D受容体作動薬			
発現事象	血圧の上昇、血管攣縮が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に作用を増強	指示	禁止
5. 薬剤名等：MAO阻害剤			

発現事象	本剤及び活性代謝物の消失半減期＜t ₁ /2＞が延長、本剤及び活性代謝物の血中濃度－時間曲線下面積＜AUC＞が増加	投与条件	MAO阻害剤を投与中あるいは投与中止2週間以内
理由・原因	A型MAO阻害剤により本剤の代謝が阻害され、本剤の作用が増強	指示	禁止

6. 薬剤名等：CYP1A2阻害剤と併用

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	慎重投与

7. 薬剤名等：CYP1A2阻害剤

発現事象	本剤及び活性代謝物の消失半減期＜t ₁ /2＞が延長、本剤及び活性代謝物の血中濃度－時間曲線下面積＜AUC＞が増加	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP1A2を阻害するため、作用が増強	指示	慎重投与

8. 薬剤名等：選択的セロトニン再取り込み阻害剤

発現事象	興奮、頻脈、反射亢進、下痢、発熱、不安、セロトニン症候群、協調運動障害、焦燥	投与条件	-
理由・原因	セロトニンの再取り込みを阻害し、セロトニン濃度を上昇させるため、5-HT _{1B} /1D受容体作動薬との併用により、セロトニン作用が増強	指示	注意

9. 薬剤名等：セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

発現事象	興奮、頻脈、反射亢進、下痢、発熱、不安、セロトニン症候群、協調運動障害、焦燥	投与条件	-
理由・原因	セロトニンの再取り込みを阻害し、セロトニン濃度を上昇させるため、5-HT _{1B} /1D受容体作動薬との併用により、セロトニン作用が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』